

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、平成26年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特配慮のもとに競技を進行する。小雨決行(ただし暴風雨及び雷警報発令等、実施困難な場合は中止と)
2. 参加種目は一人2種目までとする。
3. スパイクシューズは長距離種目以外使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7)
4. コールは行わない。(朝の受付での棄権の報告は不要。リレーの走順変更は前日までに連絡)

競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、係の指示に従(フィールド種目も他の種目と同じ集合場所とする)

5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。

スターティングブロックは、希望者全員使用してよいが、速やかに準備できるよう、よく指導しておくこと。またブについては、岡山県の小学校の大会では、同一人でなくても、2回目以降のスタートでフライングした選手が

6. 100m, ハードル, リレーの選手は、自分のレーンを走り、ゴール後は自分のレーンにもどること。
7. トラック種目は、全種目タイムレース決勝とする。

ハードル走は下表の規定にて行う。

	第1ハードルまで	高 さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
60m	1 3 m	60cm	7 m	6台	1 2 m
80m	1 3 m	70cm	7 m	9台	1 1 m

8. 走り幅跳びは、出場者多数のため、以下の特別ルールにて実施する。

①全員3回の試技(砂場まで届かない試技は測定しない。)

(3回ともファールの場合も、参考記録は測定しない。)

②標準記録を上回った選手のみ、残り3回の試技を認める。

標準記録 男子400cm 女子360cm

・順位決定は、①②の記録を合わせて決定する。

③円滑に競技を進行するため、幅跳び以外に参加する種目により、複数のグループを設定し、

競技時間をそれぞれ設定しているので、競技日程をよく確認すること。

また走り高跳びの試技は、男女とも100cmから開始する。跳び方ははさみ跳びとし、マットへの背、腰か着地は無効試技とする。

9. 各種目とも上位6位までを表彰する。3位までの入賞者は、放送の指示により表彰式を行う。4位以下は表彰状を受け取ること。

参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと) 記録は速報板に掲示するのでよく確認の
なお、後日倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。

10. 各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。
11. 本大会出場選手のうち、希望した選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故に十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。
12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
13. ごみは各自持ち帰ること。

に教育的
とする。)

ミリ以下とする。)

うこと。

ライングに
失格となる。

らの

本部で

うこと。

は、